

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	中央図書館	■担当係	奉仕係
■評価事業名称	読書推進事業		
■事業開始年度	平成3年度		
■評価事業コード	418100 - 101	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	02 社会教育の充実	
	■施策	03 社会教育機能の充実	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	図書館法第三条・北上市立図書館規則第11条		
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	幼児から一般まで市民の読書の習慣化を涵養する。おはなし会・展示事業・体験「1日図書館司書」・子ども映画会・読書のつどい・図書館ボランティア・図書館資料展と講演・読書ボランティアグループ発表交流会		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	おはなし会(中・江・和)	乳幼児年間開催回数	「おはなし会・おはなし会SP」「工作教室(おはなし会と併せて開催)」「赤ちゃん向けおはなし会」	おはなし会・おはなし会SP 20回 496人 工作教室 2回 63人 赤ちゃん向け 13回開催172人
04	展示事業	幼児・児童・一般	「手づくり絵本展」「県立巡回展」「本を活用した手づくり作品展」「本の伝言板」「ミニテーマ展」	手づくり絵本展 279人巡回展 岩手の絵暦 138人巡回展 文学書受賞図書展 231人手づくり作品展 279人本の伝言板 85件 ミニテーマ展 月2回(21回)
07	図書館収蔵資料展と講演会	成人	図書館収蔵地域資料展企画展示講演会	図書館収蔵地域資料展企画展示「鬼踊る 北上と平成」入場者 155人上映会「映像でたどる北上の平成」入場者 10人
08	読書通帳	幼児・児童・一般	読書通帳配布配布対象新小学一年生 施設見学者来館者	読書通帳配布 2,164冊
09	体験1日図書館司書	小 高学年	一日司書体験 2回	2回 11人
13	子ども映画会	小学校 低 幼児	子ども映画会・スペシャル 15回	子ども映画会 15回314人

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

14	読書のつどい ほか	小学生 保護 者	読書のつどい	読書のつどい12/1ー関図書館長伊藤清彦氏講演会 70人ボラ活動パネル展示雑誌スポンサー感謝状贈呈式 6社
15	絵本ふれあい ボランティア・ 書架整理ボラ ンティア	幼児	「絵本ふれあいボランティア」「書架整理ボランティア」活動回数延べ活動回数利用者数	ふれあいボランティア 18回 167人書架整理ボランティア 141回本の修理ボランティア 139人 1,552冊
20	読書ボラン ティア発表交 流会	読み聞かせボ ランティアグ ループ・学校図 書館ボランティ アグループ	「読書ボランティア発表交流会」参加者数	35人
21	対面朗読	視覚障害者	対面朗読	0人
22	図書館クリ スマスディス プレー	幼児・小学生	「図書館クリスマスディスプレイ」開催回数参加者数	1回17人
23	貸出福袋	幼児・児童	「貸出☆本の福袋」開催回数利用者数	1/4 児童28セット 一般10セット
24	BOOK救命 隊	中学生	「BOOK救命隊」開催回数利用者数	和賀西中 11人
25	大人名画座 ほか	一般	「大人名画座」開催回数5回入場者数	大人名画座 5回149人
26	健康劇で楽し く学ぶところ の健康ミニ講 話	一般	なし	なし
27	郷土資料講 座	一般	なし	なし
28	百科事典の 引き方学習支 援		小学四年生対象に実施	黒東小 4年生4クラスで実施 120人
29	読み聞かせ ボランティア 養成講座			全3回 20人参加

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	291	382	409	409	
人件費	9,532	10,251	13,812	11,758	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	9,823	10,633	14,221	12,167	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	事業数	26事業(新1)	26事業	26事業	25事業	おはなし会、映画会等の事業数
02	開催数	207回	175回	203回	254回	各事業の開催回数の合計
03	事業の参加者数	7,720人	6,601人	6,220人	5,659人	各事業の参加者合計
04	1事業あたりコスト					
05	開催数当たりコスト					

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ 目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

市民の関心を集め読書推進を図るイベントをある程度実施できている。

問題点・課題等

図書館に関心のない市民への利用促進・啓発が課題

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

好評のイベントについては継続。それ以外については市民の興味をひく企画に見直ししている。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了